



# しながわがくげい



令和5年度12月号  
品川学藝幼稚園  
園長 関 幸 治

## 【練習がんばっています・・・】

12月9日（土）の遊戯会に向け、練習に力が入ってきました。遊戯室では演奏の練習で、一日中楽器の音が聞こえます。

### （すみれ組）

すみれ組は楽器あそびとうたです。タンバリンやカスタネット、鈴、トライアングルを使っての演奏です。先生の「楽器は左手に持って。」「手が上がったら演奏の準備。音は出さない。」等々担任や補助の先生から指示が飛びます。準備ができたなら演奏の練習開始です。大太鼓、小太鼓は担任の腕の振りに合わせます。タンバリンやカスタネット、鈴、トライアングルもそれに負けじと必死についていきます。どの子の顔も真剣です。一回目の演奏が終わると緊張の糸が・・・当日はどんな演奏になるのでしょうか。

### （ばら組）

ばら組はハーモニカの斉奏と合奏です。ハーモニカは年少の3学期から少しずつ練習を始めていました。鍵盤のように目で見えるものではないので、音を出す場所は練習で確実に覚えるしかありません。鍵盤ハーモニカは立てて演奏します。立てるといのは平置きと異なり、鍵盤が見えません。かなり高度な技術を要します。余裕で演奏しているばら組の子どもたち、1年間の成長をどのように感じられるのでしょうか。

### （まつ組）

まつ組は鍵盤ハーモニカ斉奏と合奏です。鍵盤ハーモニカはばら組の頃から手になじんでいます。曲はより難しくなっています。アコーディオンの演奏もあります。自分の体の幅より大きいアコーディオンを使います。それも立っての演奏です。かなり難しく大変な演奏ですが、難なく練習をしています。今回で3度目の遊戯会の演奏、すみれ、ばら、まつと成長してきた子どもたちを見ていただけたらと思います。

遊戯の部もグループごとに楽しく元気に演技します。どうぞお楽しみに・・・



## えっ、もう12月・・・

気が付くと12月、今年も最後の月となりました。2学期は暑い日が続き、秋らしい日が少なく、夏から急に冬になった感じがします。体が寒さに慣れないうちですから、体調を崩してしまう子どもも出ています。コロナ感染症が下火になってきたら、今度はインフルエンザ、気が抜けない毎日が続きます。学級閉鎖になってしまった小学校や中学校がありますが、幸いなことに本園では集団的な発生はまだありません。今後も手洗いの徹底、うがいの励行をしていきたいと思っています。

終わりよければすべてよし、このひと月を明るく元気に過ごさせたいと思います。幼児画展、遊戯会、子どもたちが満足して活動できるように今日職員一同頑張っています。よろしく願いいたします。



## 12月 指導のねらい

### すみれ組

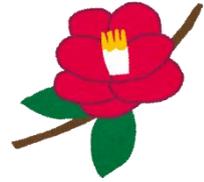
○遊戯会での発表を通して、皆で力を合わせることの楽しさを味わう。

### ばら組

○皆で一つのことに向かって力を合わせることの大切さを知る。

### まつ組

○友達と共通の目的に向かい、思いや考えを伝え合いながら遊びや活動を楽しむ。



## 講師による指導（12月）

器楽指導 渡辺 正明先生 まつ組

英語指導 ジェマ ヘムス先生 ばら組 まつ組

体育指導 櫻井 由香先生 ばら組

松本 幸浩先生 まつ組



## ○お願い

### 「登園・降園について」

登園・降園については、自転車を置く場所のご協力ありがとうございます。園正門前の混雑も避けられるようになりよかったですと思っています。

さて、このところ高等学校の校庭体育の時間と登園・降園の時間が重なってしまうことが多くなってきました。体育の授業は少人数とはいえ動きを伴うものです。子どもが急に飛びだしたり、横切ったりするとお互いよけきれないことが多いです。体育の授業を行っている際には、校舎側の通路を使うようにしてください。どうぞよろしく願いいたします。

## しながわがくげい 二十四節気・七十二候…12月 師走(しわす)…

二十四節気は半月ごとの季節の変化を示しています。これを約5日おきに分けて気象の動きや動植物の変化を知らせるのが七十二候(しちじゅうにこう)といいます。

**大雪(7日)**…山の峰々は雪をかぶり、平地にも雪が降る頃です。本格的な冬の到来です。

閉塞成冬(そらさむくふゆとなる)空が閉ざされて真冬となる頃

熊蟄穴(くまあなにももる)熊が穴に入って冬ごもりする頃 熊は秋に食いだめをします

鱒魚群(さけのうおむらがる)鮭が群がって川を上る頃 鮭がふるさとの川に戻ってきます

**冬至(22日)**…1年で最も夜が長く、昼が短い日です。冬至かぼちゃ、ゆず湯の風習があります。

乃凍生(なつかれくさしょうず)夏枯草(かご草)が芽を出す頃 夏至の頃と逆です。

麋角解(さわしかのつのおつる)古い角を落として生え変わる頃 麋は中国にいた大鹿のことです。

雪下出麦(ゆきわたいてむぎいづる)雪の下で麦が芽を出す頃 麦ふみは日本独特の風習だそうです。

冬至が過ぎれば、また少しずつ日が長くなってきます。逆に寒さはどんどん強くなってきます。1年最後の月、健康に留意し、充実した生活を送りたいと思います。